

食品安全委員会が収集した食品安全に関する主な情報

○微生物・プリオン・自然毒—ウイルス

米国食品医薬品庁(FDA)、生のホタテガイに関連した A 型肝炎集団感染を調査している旨公表

公表日:2016 年 8 月 24 日 情報源:米国食品医薬品庁(FDA)

<http://www.fda.gov/Food/RecallsOutbreaksEmergencies/Outbreaks/ucm517289.htm>

米国食品医薬品庁(FDA)は 8 月 24 日、生のホタテガイに関連した A 型肝炎集団感染を調査している旨を公表した。概要は以下のとおり。

1. FDA は 8 月 17 日、ハワイ州保健局(Hawaii Department of Health (HDOH))からハワイ州で 206 人の A 型肝炎患者が確認された旨の報告を受けた。患者は、6 月 12 日から 8 月 9 日にかけて発症した。全員が成人で、51 人は入院を要した。
2. FDA は HDOH と協働で患者が喫食した食品の流通経路を追跡調査し、共通の感染源として Sea Port Products 社のフィリピン産輸入ホタテガイに帰着した。これらはハワイの元気寿司(Genki Sushi)の店舗に供給されており、患者はそこで食事していた。
3. FDA は 8 月 11 日に採取したホタテガイ 2 検体を検査し、A 型肝炎ウイルス陽性を確認した。これらの検体は同社が輸入した 2015 年 11 月 23 日及び 24 日加工のものであった。
4. FDA、米国疾病管理予防センター(CDC)、HDOH 及び州当局は 8 月 17 日、同社に対し、疫学、検査所及び追跡調査の情報から、同社のホタテガイが感染源である可能性が高いことが示された旨通知した。同社は 8 月 18 日、2015 年 11 月 23 日及び 24 日に加工された冷凍 Bay Scallops 3 ロットの自主回収を開始した。ロットナンバーは、5885、5886 及び 5887 である。製品は、カリフォルニア州、ハワイ州及びネバダ州に流通していた。同社によれば、回収製品は小売販売用ではない。FDA は、製品が市場から確実に取り除かれるよう、同社と協力して活動している。
5. レストラン及び他の小売業者は、回収対象のホタテガイを販売又は提供してはならない。消費者は、同社の回収対象のホタテガイを食べないように、レストランや小売業者に調達先を確認すべきである。

※HDOH が公表している最新の当該集団感染情報(2016 年 9 月 28 日)

9 月 28 日現在 患者数 282 人、入院 71 人、発症期間 2016 年 6 月 12 日～9 月 16 日

<http://health.hawaii.gov/doccd/hepatitis-a-outbreak-2016/>

米国食品医薬品庁(FDA)、冷凍イチゴに関連する A 型肝炎集団感染の調査結果を公表

公表日:2016 年 9 月 1 日 情報源:米国食品医薬品庁(FDA)

<http://www.fda.gov/Food/RecallsOutbreaksEmergencies/Outbreaks/ucm518775.htm>

米国食品医薬品庁(FDA)は 9 月 1 日、冷凍イチゴに関連する A 型肝炎集団感染の調査結果を公表した。概要は以下のとおり。

1. 米国疾病管理予防センター(CDC)には 8 月 31 日現在、7 州(メリーランド、ノースカロライナ、ニューヨーク、オレゴン、バージニア、ウィスコンシン及びウエストバージニア)から当該集団感染に関連する A 型肝炎患者が 70 人報告され 32 人が入院した。
2. 患者 70 人中 68 人が、発症の前月に Tropical Smoothie Café でスムージーを飲んでおり、スムージーの種類については患者 54 人がイチゴ入りスムージーを摂取したと報告した。これらの患者は、バージニア州及び近隣州の限られた地域の同店舗でスムージーを購入した。

3. FDA の追跡調査中間報告によれば、患者がスムージーを飲んだ同店舗で供されたイチゴはエジプトから輸入されたものであった。Tropical Smoothie Café は、8 月 8 日までにバージニア州及び近隣州の店舗でのエジプト産冷凍イチゴの使用を中止し、8 月 19 日にはエジプト産冷凍イチゴを国内の全店舗から除去したと報告した。4. イチゴの由来及び流通に関し FDA は調査を続行中である。エジプトの国際保健規則国家担当者(International Health Regulations National Focal Point)と調査に関する協議のため連絡を取っている。FDA は輸入イチゴの監視強化を開始し、更なる情報を入手し次第公表する。

※CDC が公表している最新の当該集団感染情報 (2016 年 9 月 16 日)

9 月 14 日現在 患者数 8 州 119 人、入院 47 人

<http://www.cdc.gov/hepatitis/outbreaks/2016/hav-strawberries.htm>

○関連情報 (海外)

・欧州食品安全機関(EFSA)、欧州の複数国にわたる A 型肝炎ウイルス集団感染症に関連する食品の追跡に関する科学報告書を公表(2014 年 9 月 8 日)

ブルガリア産のブラックベリーとポーランド産のアカフサスグリが、追跡ロット及び症例に最も多く共通していた。感染の可能性として、冷凍工程の臨時労働者、収穫貯蔵加工時の器具及び灌漑用貯蔵水などの汚染、ベリー生産地での洪水や A 型肝炎の風土病化などが考えられる。冷凍用ベリーを生産している国々に対して、適正衛生規範、適正生産規範、適正農業規範の順守が提言された。

<http://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.2903/j.efsa.2014.3821/epdf>

・台湾衛生福利部疾病管制署、貝類の生食による A 型肝炎に関して注意喚起 (2014 年 12 月 5 日)

台湾衛生福利部疾病管制署は、貝類の生食による A 型肝炎に関して注意喚起を行った。同署の資料によると、2014 年 10 月 1 日から 11 月 30 日までに急性ウイルス性 A 型肝炎症例数が 30 人に達した(このうち 25 人が入院)。前年同期比で 4 人増となっている。同署と衛生局の調査により、症例の多くが潜伏期間中にカキ、ハマグリ、シオフキガイ等の貝類を生食していたことが分かった。同署は、水産物は必ず完全に火を通してから喫食するよう市民に注意喚起している。

http://www.mohw.gov.tw/CHT/Ministry/DM2_P.aspx?f_list_no=7&fod_list_no=4983&doc_no=47685

○関連情報 (国内)

・食品安全委員会、ファクトシート A 型肝炎(平成 23 年 11 月 24 日)

<https://www.fsc.go.jp/sonota/factsheets/11hepatitis.pdf>

・厚生労働省、食品媒介性 A 型肝炎ウイルス対策等について(平成 9 年 11 月 28 日)

A 型肝炎は糞便経口感染することから、食品の取扱いに際しては入念な手洗い等衛生管理を徹底する必要があることを、広く普及啓発するよう努めること。

<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/dl/091128.pdf>

・厚生労働省検疫所、海外で健康に過ごすために、A 型肝炎

予防として、予防接種や十分に加熱処理された飲食物を摂取すること。

<http://www.forth.go.jp/useful/infectious/name/name01.html>

・国立感染症研究所、A 型肝炎とは

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/320-hepatitis-a-intro.html>

・国立感染症研究所感染症情報センター、2014 年の A 型肝炎の増加 (平成 26 年 2 月 21 日)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/hepatitis-a-m/hepatitis-a-idwrc/4436-idwrc-1407.html>

※詳細情報及び他の情報については、食品安全総合情報システム (<http://www.fsc.go.jp/fscis/>) をご覧ください。